

平成30年7月豪雨関連

同時発表

広島県

平成30年12月6日  
水管理・国土保全局防災課

平成30年7月豪雨により被災した<sup>みささがわ</sup>三篠川（広島県）の  
抜本的な治水対策を実施します。

～三篠川において災害復旧助成事業に着手～

平成30年7月豪雨によって、広島県が管理する太田川水系三篠川では、河川断面の不足による<sup>いっすい</sup>溢水や越水※などにより、家屋等の浸水被害や護岸崩壊、JR芸備線をはじめとした橋梁の流出など、甚大な被害が発生しました。

広島県では、被災箇所<sup>箇所</sup>の復旧に当たって、今後、同規模の豪雨によっても、再度、家屋浸水などの被害が発生することがないように、災害復旧助成事業により、河道拡幅、河床掘削等を行います。

国土交通省では、本事業について、積極的に支援をしております。

※川などの水があふれ出ることをいい、堤防がないところでは「溢水」、堤防のあるところでは「越水」といいます。

【問い合わせ先】

国土交通省水管理・国土保全局

防災課 災害査定官 齋藤 充（内線 35-752）

改良技術係長 森野 正之（内線 35-775）

電話 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8458

FAX 03-5253-1607

# 【広島県】 おおたがわ 太田川水系 みさきがわ 三篠川 災害復旧助成事業

平成30年7月豪雨により、広島県管理区間の三篠川流域では、家屋等の甚大な浸水被害が発生。災害復旧助成事業により、河道拡幅、河床掘削等を実施し、早期に家屋浸水被害の解消を図る。

【位置図】



護岸の被災状況



家屋の被災状況



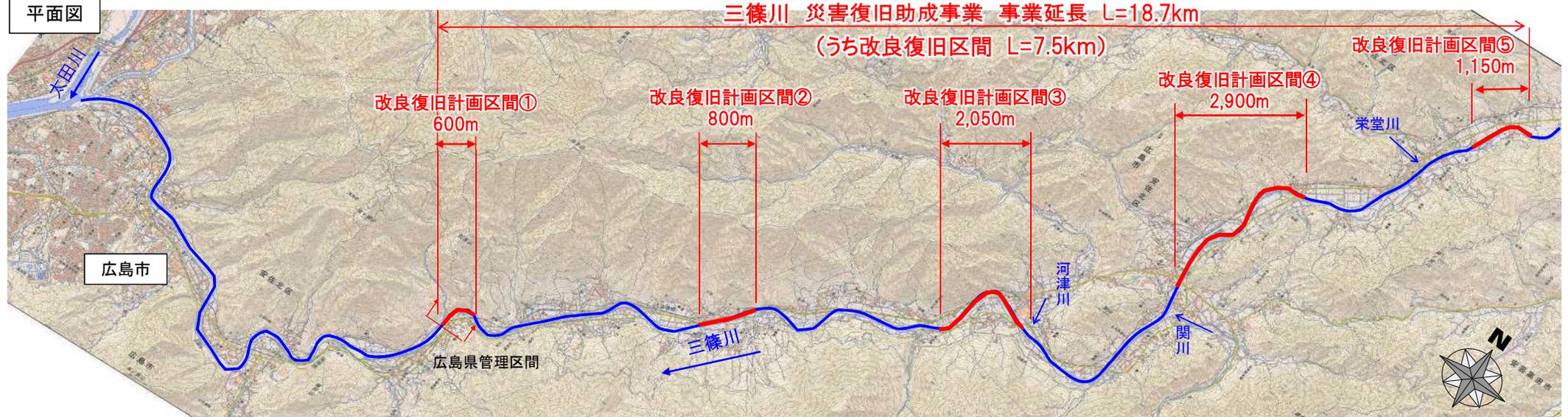
橋梁の被災状況



【事業内容】

- 事業主体：広島県
- 河川名：一級河川太田川水系三篠川
- 事業箇所：広島県広島市安佐北区
- 事業延長：18.7km
- 事業期間：平成30年度～平成34年度
- 事業費：約95億円(うち助成費約78億円)
- 事業概要：河道拡幅、河床掘削等

平面図



浸水実績

出水年月日	浸水戸数(戸)			浸水面積(ha)
	床上	床下	計	
H30.7.6	214	129	343	234.5

事業効果



事業イメージ

